

2019年3月期 第3四半期決算説明会 質疑応答要旨

2019年2月15日

質問；APは1～3Qの受注が厳しく4Qに回復ということだが、3Q迄の減少していたものが単純に4Qに受注となるのか。それとも状況が良くなり、来期の見通しを上に見て良いのか。一過性の受注増なのか、持続性のある回復なのか教えて欲しい

→今期は1～3QまでAPの受注が極めて低調で、殆ど4Qに集中する見込み。18年度を通しては我々が見込んでいた予想よりも増える見込みであり、17年度と比較しても増える見通し。

19年度も商談状況は旺盛で案件数も多いため、持続性のある受注回復と考えている。

質問；長年アスファルト合材の需要が低迷した分が戻ってくる訳でないのか？

→当社の業績がここ数年で良くなったのは、現安倍政権下で公共投資予算が安定的についており、当社のお客様が計画的に投資をする必要性があると判断されているため。それまでの十数年間に於いては、スクラップ・アンド・ビルドの更新投資が殆ど行われておらず、一定期間、極端に需要がなかったのが、商談として現れている状況である。なお、来期も商談のある状況と考えている。

質問；業界の人手不足は解消されるイメージか、リスクとして残るイメージか？

→リスクとして残ると考えている。プラント設置工事を行う場合、現地で業者の人員を集めるのが困難な状況が続いている。またトラックの人手不足も若干は解消されている感はあるが、数ヶ月前の計画通りに手配ができなければ運賃が跳ね上がる状況は続いている。

(注) 本資料は決算説明会での質疑応答をまとめたものですが、内容を理解しやすい様に一部を当社で加筆・修正していますことをご承知おき下さい。

日工株式会社 財務部 IR 担当